

製品名: FASN (17A14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10839**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50, FC 1:20-1:50
分子量	273kDa

抗原情報

遺伝子名	FASN
別名	FASN; FAS; OA-519; SDR27X1; Fatty acid synthase;
遺伝子 ID	2194.0
SwissProt ID	P49327
免疫原	ヒト脂肪酸合成酵素の合成ペプチド

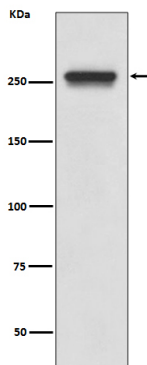
背景

脂肪酸合成酵素 (FASN) は、アセチル CoA とマロニル CoA から長鎖脂肪酸の合成を触媒します。FASN は7つの異なる触媒活性を持つホモ二量体として活性で、肝臓で脂質を産生し、代謝活性組織へ輸送するか、脂肪組織に貯蔵します。他のほとんどのヒト組織では、新しい構造脂質の合成に循環脂肪酸に依存しているため、FASN の発現は最小限です。脂肪酸合成酵素は、NADPH 存在下でアセチル CoA とマロニル CoA から長鎖飽和脂肪酸の de novo 生合成を触媒する多機能酵素です。この多機能タンパク質は、7つの触媒活性と、アシルキャリアタンパク質 ([ACP]) ドメインの補欠分子族 4'-ホスホパンテイン結合部位を有します。

研究分野

心血管系

画像データ



A549 細胞溶解物における FASN 発現のウェスタン ブロット分析。